

研究課題名	環境要因や母体ストレスによる胎盤ステロイドホルモン合成のかく乱
研究期間	2026年5月27日～2032年3月31日
研究の対象	2020年4月～2031年3月の間に産業医科大学病院産婦人科で妊娠分娩管理を受けられた方
研究の目的・方法	研究目的：環境因子や母体ストレスが胎盤のステロイドホルモン合成や出産時イベントに及ぼす影響を明らかにします。 研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを使用して、出産時イベントを抽出します。血液の残余分、臍帯血の残余分、胎盤組織の残余分を使用して、母体ストレスや環境因子の濃度を測定します。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：診療録（カルテ） 試料：血液、臍帯血、胎盤 試料・情報の管理責任者：産業医科大学病院産婦人科 田尻亮祐
利用または提供を開始する予定日	2026年5月27日（実施許可日以降）
個人情報の保護	得られた試料・情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。個人と連結させるための対応表は、産業医科大学の研究責任者が厳重に管理します。
外部への試料・情報の提供	広島大学および早稲田大学へ検体と診療録データを郵送し、また、解析結果を関係者のみアクセス可能なクラウドで共有します。
研究組織	本学の研究責任者 産業医科大学病院産婦人科科 助教 田尻亮祐 研究機関の長 産業医科大学長 上田陽一  研究代表者 広島大学大学院統合生命科学研究科 教授 石原 康宏  共同研究機関 早稲田大学創造理工学部 教授 大河内 博
その他	検体・検査データ等は、別の研究に利用させていただく可能性があります。その際は産業医科大学医学部産婦人科学教室のホームページ（ <a href="https://uoeh-sanfujin.com/">https://uoeh-sanfujin.com/</a> ）へその情報を掲載し、拒否の機会を保障します。
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としないので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出によ

る不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

産業医科大学病院産婦人科

担当者：田尻亮祐

福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1

電話番号：093-603-1611